夕刊 常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

太田候補断然優勢

高木苦戦に郡民ら奮起

絶対当確を伝いられる相馬の太田候補、片や石城十七万票を背負つてこれまた当確うたがいなしと言う関内候補の真中に狭まれた高木候補は、地元双葉の少い得票の上に立つて三区の保守陣営中最も苦戦に追込まれている候補であるが、高木候補が残した地方開発への偉大なる功績を知る選挙民の間から盛り上つた「高木落すな」の声は、各地で急速に盛り上り、殊に双葉選出三県議初め、石城地区に於ける蓮沼議長、馬目、沢田両県議らの「関内側近が気狂いじみた謀略で有権者をまどわそうとも、私達は身命をとして高木候補を応援する、有権者の皆様はいわき民報のデマ宣伝に迷わないで下さい」との毅然とした高木支持表明は更に高木支持えの拍車を加え、一流の空涙と特有の謀略戦でのぞむ吉田側近勢に大きな動揺を巻き起している

鳩山総裁から激電

なお高木候補苦戦の報に同候補の選挙事務所にはときの人鳩山一郎氏ら初め多くの同志から続々激励電報が寄せられ関係者を奮起させている（以下電文の一部紹介）

「必勝期し御健斗を祈る」 鳩山一郎

「斗い愈々たけなわにして局面有利に展開す、貴下の健斗を祈る」 広川弘禅

「目下九洲遊説中、選挙次第に有利なり、はるかに必勝を祈る」 石田博英

高木候補を応援

県医師連盟から推選

県医師連盟（委員長村上正徳氏）では推薦候補の決定を急いでいたが、第三区では医療制度に最も功績あつた自由党公認高木松吉氏を推薦と決定、その当選を期することになり、各下部組織に協力方を指令するとともに、このほど高木候補の選挙事務所に推薦書を送附して来た

平医師会起つ

平医師会（会長鈴木正男氏）では県医師連盟の指令に基き同会推薦候補自由党公認高木松吉氏の必勝を期して全会員を挙げて応援することになつた

輝く高木前代議士の功績

跨線橋の新設

平名物日下着工中

【8】

平駅に近く着工される、繁華街と旧城地区とをつなぐ、市民待望の跨線橋は、これも高木松吉前代議士の功績の一つである

前市長鈴木辰三郎翁が健在のころ、昭和二十五年高木松吉氏が法務政務次官当時、関谷運輸次官と共に来平した際、市長自からお迎えした時の話しである

非常に平駅の乗降客が困雑を極めた、この様を見て高木次官は

これでは狭い、このサン橋をひろげるか、新たに城山より跨線橋を建設するかの方法しかないと言うので市長らは早速協議して直ちに両次官に話したところ鉄道は独立採算で仲々架設は至難であろうと市長ら三氏で相談の結果補助より道はなかろうと相談がまとまり、跨線橋新設の構想で進んだところ、関谷、高木両次官の尽力で今日実現する運びとなつたがこの問題に対し関内正一氏が代議士時代

「さう言う金で跨線橋を作るより、道路に砂利でも敷いた方がよい」

と跨線橋実現に反対したため、問題の解決が一年有余も遅れ空白時代を現出した、ところが現諸橋市長の時代となつて、市民から跨線橋は是非必要だとの声が盛り上つた、諸橋市長もこの熱烈な市民の声に目覚めて、乗り出すことになり、更めて、副議長大嶺寅、鈴木（寅）、水竹各市議ら数名が陳情に上京、関谷、高木両次官に御願いしたところ、打切りになつたと通告されて陳情団がしよう然としたが、幸い蓮沼県会議長も上京中だつたので協力を願つて二日間に亘つて歎願したところ、両次官は

それでは再考しようと言うことで採りあげられ、その後、市首脳部から水戸管理局に陳情の際、高木次官の来水を求めて、陳情に及んだところ、本省において承認するなら管理局としても実現するよう協力しましようと話がまとまつたもので、全く高木候補の政治力の賜である

工事は一千三百九十万円、そのうち平市負担が五百七十五万円で最近東鉄建設株式会社の請負で着工され、遅くも八月中旬までは完成される予定である

三十米道路駅前から城山に直通されるこの跨線橋完成を思うとき、この跨線橋問題で陳情の帰途、平駅頭に倒れ、そのまゝ病床について逝去された、前市長鈴木辰三郎翁の遺徳を市民と共に感謝したい

さるかだ

湯本青年学級

予備教育実施

湯本町青年学級進学部（高校進学予備校）の設置については十日同町教育委員会で審議の結果、十二日から永久的に高校不合格者の特別教育として湯本一中校に開設することになつた

予備校の専任講師は目下検討中であるが、兼任講師は湯本一中校その他の学校から選任される

授業時間は日曜日を除く一週三十時間で毎日午前九時から開校する

同部では現在入校希望者は四十名だが、他町村の希望者も歓迎しているので増加するらしい

草野村長強硬

飽くまで村議選を執行

草野村会問題に関し十一日県地方課員及び有賀総務部長が草野村長坂本氏を訪問し再び円満な方法はないかと勧告したが、村長側は「行政訴訟の結果自分は勝訴したのだから、妥結の方法はない」と拒絶、十二日真相報告に出県した坂本村長としては飽くまで百七十八条の明文に基き信念ありとし村議戦を執行する態度である

関内派の陰謀暴露さる

取巻連の独善行為に批難

支部長木村守江氏を始め、蓮沼県会議長、馬目、沢田、大平、星の各県議ら最高幹部が殆んど欠席のまま開らかれた、自由党石城支部役員会は、既報の通り関内内候補の選挙推務長小野県議と植田、赤津の両県議に、地元の平市からはいわき民報社長野沢武蔵、萩原義雄の両氏だけしか出席しなかつた所謂骨抜きのごま化しを相談した役員で、申合せ事項として相談した「選挙推進委員」設置の件は、その後賛否両論が対立したまゝ、これが取扱についてその成行が注目されれいたが

関候補のとりまき連といわれている二、三側近者らの謀略によつて、内々の裡に事が進められ

二、三日前から支部長木村守江氏の名で上小川村大字川前佐藤伝一氏外数十名に対して「選挙推進委員」を任命するとの葉書印刷で通知を発した

葉書の内容が選挙違反に抵触するかどうかは別問題として、自由党石城支部としてこれ程の重大問題を幹部会にも相談せず僅か二、三のとりまき連によつて事を進めれたことに対し、支部役員の間から強固な反対論が出て、常日頃から専横を極めていた「とりまき連」に対する反感と無統制ぶりがバク露され、終盤戦を前に大きな動ようをみせている、右に関し支部役員である強口平市議は語る

「かういう重大なことを、役員らに相談せず、一、二の者だけで決めてしまうなどは、軽卒というより、横暴も甚だしい、次回役員会の席上徹底的に糾弾する」

また、ごま化し相談の骨抜き役員会に出席した坂本草野村長は語る

「当日私は出席して、推進委員を作る相談をしたことは知つている、しかし人選については後日各町村からの提出者に対し、幹部に人選を一任することという程度の話合だつたので、その後幹部から何らの話もないので草野村としては適任者を提出しなかつた、恐らく二、三の幹部が人選を決めたのでしよう」

と語つている通り、正式な支部会体の決定に基ずく、正当な根拠のある推進委員ではなく、関内候補とりまき連の一方的な謀略的任命通知であり、価値のないものであるとの風評で、任命ハガキをもらつた人達はこの無暴な二、三幹部の便利主義に利用されるなと、横暴支部役員に対するするどい批判が加えられている

三つ子産る

内郷町高坂字御殿一常磐炭砿住吉坑採炭夫高木茂夫氏妻高木タキ子さん（二三）は妊娠かんにより内郷病院に入院のところ、八日午前一時四十分ころ急にに産気づき八ケ月で男の三つ児が流産した、内郷町では昭和二十年ごろ三つ児死産があつたが、今度で二度目の三つ児死産だと係は語つている

お花見手拭
のれん
御名入染物は
馬目工場 ☎558
節句のお返しに 風呂敷

大谷石
五丁目電六六 井上

あるがの特撰 ひな人形 平市銀座 ☎223
御引物用漆器
★各種豊富に取揃へて御座居ます★

皆様の利益を護る大黒屋独特のBB商品全店に近日再登場
一に努力 二に努力
大黒屋．平店．湯本店．金坂店．小名浜店が祝山神祭と櫻まつりに贈る
特別奉仕品は本日12・13・14・15の4日間10,000点全店に発表致しました
全店にて
●春の化繊服地オール奉仕市
●綿実用生地大奉仕市
●春のジヤケツトと子供服奉仕
●ワイシヤツ、ネクタイ、メリヤスの会
平本店
●六大メーカーめかた大発表会
●春呉服奉仕市
●夏プリント服地第一回発表会
平支店
●晴雨傘新柄発表会
●ブラースとスカートの会
●春の婦人ワンピース奉仕
●オール服地大奉仕
●春毛服地値下断行 平支店と小名浜店
●湯本・金坂店は祝山神祭協賛に奉仕品次々神結致します
連鎖店 平本店 平支店 湯本店 小名浜店 金坂店
皆様の利益を護る店
大黒屋
三に努力の店
大黒屋のB B商品とは生産者と当店が最善の努力によつて生み出た結晶の最善のお買徳品です BEST．BUY

寿司
花見弁当百円より
とんかつ
仲田町 新富

急募
女事務員一名
履歴書、成績証明書持参の事

内科・整形外科・性病科
外科・胃腸科・小児科
婦人科・歯科・レントゲン科
平市南町二十三（電一七）
医療法人 松村病院
院長 松村亨
大田耕作
河島清作
岸本隆夫
松村政次
放射線科 新妻春治
薬剤師 菊池政次

お花見の……
◎折詰の御用意は◎
割烹仕出し
菊よし
電一〇七二

割烹
!! 春の召上りもの !!
オ待兼ミツ豆始めました
奈加や
平市 大横小路
電 三九五
江戸前
寿し
出前迅速

紳戸牛肉の店
市価の一割引売出し中
御花見の供に御酒の供に（ハムソセージ）
東京メーカー品を沢山取揃へて御待ちして居ます
緑屋牛肉店
本店 電話五三九
支店 電話七九四

お父さんぼくは大きくなりました

社頭對面の遺兒

靖國神社大祭に上京

總選挙の騒ぎが再軍備論でやかましく論ぜられている折柄、靖国の社頭へ、靖国の父に面会しようと桜花かほる来る二十三日の大祭に遺児達が元気な姿を父や兄弟に見せる。これは全国福祉協会の手によつて行われるもので、晴れの代表として選ばれた平市の二遺児を訪ねて、その長い間の夢だつた「父に会う」喜びを小さい胸をはずませている感想を聴いた

軍人は嫌いだ

二階堂君は語る

平市から選ばれた遺児は平市大町四五二階堂みのるさん長男隆一（一五）と同郡之内字水口二九農鈴木千枝さん（一六）の二人だが、二十三日行われる靖国神社春季例祭に出席、声なき父と十年振りの対面をする、記者は靖国の霊となつた父と対面するその一人、二階堂隆一君を尋ね喜びと戦争について聞いてみた

「お父さんのいる靖国神社に行けることになつて僕はうれしい

お父さんは、五つのとき見たゞけなので、あまり記憶していない、お父さんがいなくても、お母さんがよくして来れるので淋しくはなかつた（内気らしく記者のじゆん問に頬を赤らめているが戦争のことにふれると）戦争は大嫌いだ、兵隊のことで大人の人が色々騒いでいるが、僕は軍人になりたくない、大きくなつたら上級学校に行きお母さんと一緒に暮し真じ目に仕事をしたい、朝鮮戦争はよその国の事だけれど、多くの人が死んで行くので早く止めてもらいたい

うれしい夢

鈴木千枝さん談

「初めて靖国神社に行き、父と対面するのでうれしくて夜も寝られないくらいです父と別れてから九年にもなり、六つのときなので父の顔は思影ぐらいで記憶するまでには到りません、戦争はもうまつぴらです、戦争の話を聞くとゾツとします、父がいなくてもおじいさんやお母さんが可愛がつて来れるのであまり淋しくは有りませんが、友達がお父さんと話をしていたり、歩いているとうらやましくなります」

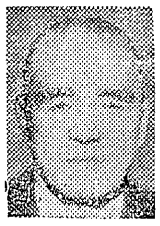
クレパス作品 全国児童の

十五日から公開

平市才槌小路魁文堂主催の下に全国児童生徒クレパス、水彩画の入選作品百点を来る十五日から二十日まで平市公民館に陳列して一般へ公開する、この作品は全国各校から募集した作品のうちから厳選した優秀作品のみであるので、早くも人気を呼んでいる

關内推薦ハガキ承諾せず

明かな陰謀だ 蓮沼、馬目兩氏憤慨



蓮沼県会議長

馬目県会議員

国を挙げて公明選挙の推進運動が押し進められているとき、終始一貫高木候補を支持して来た蓮沼、馬目県議らを「自由党一本化の美名のもとに」あたかも関内候補を支持するが如き宣伝をしたり、更に馬目県議から関内候補の事務長である小野県議に対して「私は関内候補の推薦状には名前を貸せない」とはつきり断わられていたにもかゝわらず、独断で蓮沼、馬目県議の名前を関内候補の推選状に署名するなど、有権者を愚弄するも甚だしい関内側近の破廉恥的陰謀が当の馬目県議から暴露され、良識ある有権者の憤慨を買うとともに、公明選挙下に許せない行為であるとして批判の的となつている

蓮沼、馬目県議の高木候補支持は今更始つたことでなく、市民の等しく知るところであるが、自由党の分党以来県自由党一本化の美名にかりて地元いわき民報が、蓮沼馬目県議が、節を曲げて関内候補を応援するかの如き気狂じみたデマ宣伝を始めたので、こんなことで市民を迷わしては選ばれた県会議員として申訳ないと考え、過般福島市で開かれた県議団会合の席上、馬目県議から関内候補の事務長である小野県議に対して

「関内側近が私の名を乱用して有権者を迷わしているが、私は関内候補のために名前を貸すことは一切ならぬ」

とことわり、小野県議も「馬目県議の立場から関内候補を応援することは出来まい、承知した」と互に明確な態度を決めていたものである

木村支部長謝罪

木村参議院議員

ところがそれから数日後木村守江支部長が、蓮沼議長宅で蓮沼、馬目両氏に是非逢いたいからと面会を求めて来たので面会したところ「蓮沼、馬目両氏の明確なる意志表示があつたにもかゝわらずひたすら有権者を謀略的に落し入れようとしている関内側近は独断で蓮沼、馬目県議を関内候補の推薦状に署名してしまい、木村支部長をして泣き落しのりよう解を求めに来たことがわかりその破廉恥的謀略に限りない怒りを感じたと言うわけであるが、選挙の唯の武器である推薦はがきを破棄されるわけにもゆかず、この上は自ら高木応援の陣頭に立つて有権者の良心に訴え、その陰謀と斗うのみであるとして馬目県議らは卒先、高木応援の陣頭に起ち上つたわけで吉田側近政治をそのまゝ縮少したかの如き関内側近の独善的な陰謀は有権者を愚弄するも甚しいものがある

私は高木応援

馬目県議談

私が小野県議にはつきりことわつたにもかゝわらず、あいて私の名を関内候補のため使つたことは、全く関内側近の陰謀である、私が生命かけて支持する候補は高木候補一人であるから、二人の候補者の推薦状に私の名が出ていてもそれは前記のような有権者を迷ずための陰謀であるから、市民の皆様は決して迷わないで下さい

「青い羽根現る

「お願いします」と黄い声をあげて小学生らが叫んでいる、これは選挙運動ではなく「緑の週間とあつて、その資金募集のため、青い羽根を売つているのです、当分この運動が市内の到るところで行われることでしょう

（平市内にて）

俳句大會（平性源寺で 来る十八日）

十日から、郡下一斉に盛り沢さんな行事によつて「さくら祭り」が繰り展げられる、これに同調して平市南町二〇十星発行所主催、常磐毎日ほか各新聞社、市役所、交通会社、商工会議所、著名商店などの後援で、来る十八日午後一時から性源寺（松ケ岡公園下）で俳句大会が開催される、作品はさくら二句、締切当日正午、会費五十円、賞品は一位から十位まで寄贈賞、十星賞[illegible]選天、地、人となつており、同社では多数の出席を希んでいる

内郷保護司協議会

内郷町保護司協議会は十一日午後三時から役場会議室に県保護観察所三浦係官が来町して開き、青少年犯罪者の多い町だけに保護司として統率した歩み方をする新たなる保護指導と、第一回県保護司大会に関する打合せを行つた

社告

本社主催の浜通り軟式庭球大会は十二日決行の予定のところ、五月三日に延期となりました。右御通知申上げます

常磐毎日新聞社

竹本喜美太夫

第三十四報作吟

引揚帰還船風影

逢われぬと心に決めてた恋しい人が
『帰還するとの片便り』
待ちに待つてた迎えの船よ
『港が賑う人の波』
渡るサン橋手を振りかざし
『夢見心地の出で迎え』
貴郎こちらよ坊やもこゝに
『思わず抱き付すゝり泣き』
何年かぶりで見合すひとみとひとみ
『良くまアお無事とうれし泣き』

東京都より地方出張
日本観相家本部
二代鑑定次長 宗家嫡子
高嶋鴻成
鑑定種目
結婚の良否 事業の成行 夫婦の将来
一代の運勢
家相と方位 命名と改名 適業と時期
七日より十五日まで
平市中央通り 開盛館内

◈開店お知らせ◈
お花見を間近く聚楽館隣に皆様の味の店として気分良い食堂が開店致しました何卒御家族づれで気軽に御来店の程お待ち申し上げます
★猶階上は喫茶小宴會に御利用の程お願い致します★
……◎開店四月三日◎……
開店披露として四月三日より一週間お召し上りの方に対し
五〇円まで五円引
一〇〇円まで一〇円引
一五〇円まで十五円引
―と大サービスを致します

御献立
洋食の部 御寿司の部
御飯の部 めん類の部
一品料理
平市（聚楽館隣）
大衆食堂 有樂

◈みつ豆
◈生そば
◈寿し
出前迅速
食事のデパート
不二屋
電八八六

いとし糸ひく紅ざくら
たれにこがれて松ヶ岡
忍ぶあの娘れ
待日がきに
花がちるちる
紅の散る
座敷改築 心地よい大広間
公園
電二二六

◈開店二十週年記念◈
現金正価 ―月賦販売
各種一流メーカー53年型
★ラジオ…6ヶ月払
★扇風機…8月まで分割払
★洗濯機…6ヶ月払
お買求めの際は先づ当店にて御参考まで御覧下さい
専門店会チケツトを―お気軽に御利用出来る店
古山電氣商會
平二丁目 TEL972

第2回浜通り庭球大会使用球
エヌワン
テニスボール
ONE
（日本軟式庭球連盟公認）
販売店
平市 田村運動具店
健康ボール製造元
東京・長瀬ゴム工業株式会社・銀座

常磐炭礦の石炭
石炭は信用のある
有名品がお徳です
火力の強い
ガラの少ない石炭
電 37番 237番へ
常磐炭砿販売会社